

この町は あなたが住む町 つくる町 神川町議会

令和5年

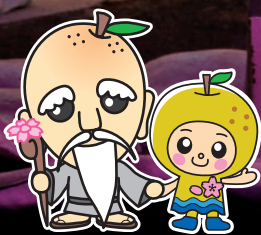
9月

定例会

7名の議員が一般質問を行う ○○○○○○○○ P.3

9月定例会決算特集 P.10

議会活動報告 P.16



表紙の写真

あなたの『想い』

 **撮影** フォーカス友の会 小川 静男さん

表紙シリーズ 町内の風景写真

議会の傍聴について

第5回定例会は**12月**

5 日(火) [午前9時～ 一般質問等] から

15 日(金) [午前9時～ 質疑・討論・採決等]
を予定しています。

新型コロナウイルスの感染状況により、議会の傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。

9月定例会を開催



令和5年第4回神川町議会定例会は、9月5日から14日までの10日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された令和4年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定8件をはじめ、令和5年度一般会計及び特別会計の補正予算5件、報告2件、条例の改正等7件を審議しました。

また、請願1件や陳情2件、議員提案の意見書も可決されました。（議案一覧及び審議結果は12ページをご覧ください。）

9月5日 一般質問

質問者	質問事項	掲載頁
川浦 雅子	1. 図書館について 2. 性犯罪防止について 3. 農業振興について	3
新井 太一	1. 図書室の必要性和図書室機能の拡充について 2. 町の総合戦略について	4
坂本 貴佳	1. 行政のデジタル化について	5
野口 弘吉	1. 消防団の現状について	6
福島 康弘	1. 地域再生とまちづくりについて	7
赤羽奈保子	1. 高齢者の「聞こえ」に対する支援について 2. HPVワクチンについて	8
剣持真菜美	1. 情報発信について	9

一般質問とは、議員が町の現在の施策、将来の考え方や説明を町長などに求め、町民のための適切な町政運営を行っているかチェックするものです。

9月定例会では、7名の議員が、町長をはじめ町当局の考えについて、質問しました。ここに、3ページ以降に掲載したものは、質問・答弁とともに質問者がまとめたものになります。

9月定例会の一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、12月上旬から町ホームページの神川町議会からも閲覧できますので、会議録の検索からキーワードを入力してご利用ください。



図書館



川 浦 雅 子 議 員

◆神川町に図書館を！

図書館は住民が求める情報を提供し、住民の知る権利を保障する重要な教育施設ですが、神川町に図書館はありません。

図書館を人が集うサービスの場として位置付ける動きも全国で進んでいます。図書館整備と司書の配置について、考えを伺います。

答え 町長

「既存施設の

利用等を検討します」

神川町総合計画の町民アンケートでは、図書館建設を求める声や、3箇所ある図書室で間に合っている等の意見がありますので、既存施設の利用等を視野に入れ、検討します。



答え 教育長

「司書や施設のあり方は検討を重ねます」

神川町の各図書室では、県立、公立図書館の相互貸借制度等に取り組み、また、電子図書館の導入で自由に読書に親しめる環境を確保しています。司書や施設のあり方は検討を重ねます。

性犯罪防止

◆被害者にも加害者にもさせない取組は？

意思に反するデジタル性暴力が問題となっています。性暴力、性被害は人権問題であり、人権

教育等に力を入れ、また、デジタル性暴力等の処罰が強化されたことを周知するとともに、もし、被害に遭われても、一人で抱え込まずに相談してほしいことを知らせていただきたいが、対策を伺います。

答え 町長

「注意喚起等周知します」

性犯罪を見直す刑法等に関する法律が、令和5年7月13日施行されました。不同意性交等罪の成立要件の明確化、わいせつ目的で若年層を懐柔する行為に関する罪の新設等の改正、また、性的姿態撮影等処罰法も犯罪要件が規定されました。

注意喚起や被害者の相談先等、町のホームページで周知します。

答え 教育長

「リーフレット等で

周知啓発します」

埼玉県からの性犯罪、性暴力防止に関するリーフレットの配布等で児童生徒、保護者に向けて周知啓発を行っています。教職員には、文部科学省の指

針に基づき、啓発の強化を厳しく実施しています。

農業振興

◆環境負荷低減の農業へ

食料の多くを海外に依存している日本は、安定的な供給に危機感が強まっています。世界では環境負荷低減を目指して有機農業が大きな流れです。そのため、神川町の農業振興にも様々な視点が必要と考えますが、町の取組を伺います。

答え 町長

「効果的な事業運営と強化を図ります」

町では、認定農業者への様々な補助事業を実施し、離農防止では、自然災害による農業被害にも支援しています。

環境負荷低減事業は、9軒の農家が町の補助金を活用し、取り組んでいます。課題は、手間と販売価格や不安定な販路です。地元の良い野菜を購入する等、消費者側の意識改革も環境負荷低減につながります。

一 般 質 問



新井太一議員

図書室の必要性と
図書室機能の拡充

◆生涯学習の拠点整備を！

図書館とは、歴史、文化の継承や、地域の子育て世代から高齢者の方たちが、気軽に本に触れ、司書が常駐し、読み聞かせやブックトークなど、本にまつわる様々なイベントが開催され、本をきっかけに人と人が出会える交流の場であります。

中央公民館図書室の改装、運営方針の見直しなど、具体的な対策について伺います。また、学生の学習スペースも人目にも



つかず本を読んだり、勉強をしたりする空間としては、あまりにも適していないため、改装の必要があるかと考えますが、町の見解を伺います。

答え 教育長

「状況に合わせて
機能や掲示を工夫します」

神川町中央公民館では、施設維持管理に係る様々な規模の改修のほか、利用者の需要や町の状況に合わせた見直しを行ってまいりました。

図書室は、本を貸し出すだけでなく、地域住民の交流の場、または、勉強する機能的なスペース、あるいは小中学生や高校生も含めて、集中して勉強するスペース等、機能や掲示をはっきりさせて、使いやすいようにしようとしたところです。

学習室も、使い勝手のいいよ

うにする必要があると思います。公民館は、単に図書を貸し出す等、ホールでいろんな行事をやるだけではなくて、町民の方が来て、利用しやすいとか、ここへ来て調べると色んなことが分かったとか、その辺のところがグレードアップできるよう、職員と話し合いを始めたところです。

町の総合戦略

◆町の将来ビジョンは？

町の人口減少対策の方針として、まち・ひと・しごと創生法に基づき「神川町総合戦略」を策定し、この事業について効果などを検証するために「神川町総合計画審議会」を開催し、神川町の地域を知り、かつ納税者の立場から神川町在住者が出席され、また、広域行政や専門的な有識者の立場から町外の委員を委嘱して意見等を伺っているが、委員の意見をどのように認識し、計画に取り入れているのか、事業効果の検証、いわゆるPDCAをどのように行っているのか。

さらに、人口減少対策の具体的な取組をどのように考えているのか、町の考えを伺います。

答え 町長

「意見等の事業化や長期的な視点で人口減少対策に取り組めます」

神川町総合計画審議会のご意見やご提案は、貴重で重要なものと捉え、「デマンド交通等のほかの公共交通手段の導入の検討」や「丹荘駅前を美化する取組」等は、今年度に事業化した実績もあります。今後も、ご意見や答申を生かしながら、各事業を実施することに努めます。

また、人口減少対策の取組は、「保健師が妊産婦に寄り添った支援を行う伴走型相談支援」や「幼保・小中学生の学校給食費無償化」など子育て支援に力を入れていますが、人口減少は、高齢化や出生数の減少など様々な要因があり、解決することが難しい課題であることから、子育て支援の充実による定住促進等を対策の軸としながら、長期的な視点で取り組んでいきます。

マイナンバーカードの様式について



【おもて面】



【うら面】

出典：総務省ホームページ

(https://www.soumu.go.jp/kojinbango_card/03.html)



坂本貴佳議員

行政のデジタル化

◆マイナンバーカード 町のデジタル化大丈夫？

コロナの感染拡大時、職員の懸命な作業にもかかわらず、住民の行政処理への不評が出ました。その対応策で行政処理のデジタル化、また、そのキーとなるマイナンバーカードの普及が加速されましたが、マイナンバーへの情報登録の不具合が発生・報道されたことにより不安が充満しました。

町での発行・不具合・その対応等の状況について、また、町の不具合防止策を伺います。

近隣の市町では、行政処理のデジタル化を進め様々な施策が計画・実施しているが、神川町での業務の見直しや、新サービスの状況はどうですか、タブレット導入が決まりましたがどの様に利用しますか、併せて基幹システムは近隣市町との共通システムを導入し、災害時・業務繁忙期での人事交流の促進、スケールメリットでのコストダウン等を検討されますか、考えをお聞かせください。

答え 町長

「安心して利用できます デジタル化も進めます」

町のマイナンバーカードの交付は、7月末時点の町民の保有枚数は8、408枚で、保有率は約64%です。マイナンバーと各情報とのひもづけの不具合の発生はなく、コンビニ交付での不具合もありません。安心してマイナンバーカードやコンビニ交付をご利用ください。

町行政のデジタル化は、『コンビニ証明書交付サービス』を実施し、今年は『ペーパーレス会議システム』や『書かない窓口システム』を予定し、国・県・近隣市町を注視し、デジタル化を進めます。

行政処理の見直しでは、「住民の皆様の利便性の向上」や「業務の効率化」が重要です、住民の使い易さ、職員の業務負担軽減を基本に推進します。

基幹系システムは県内20町村が共同利用システムを購入しコストダウンを図り、タブレット端末導入では、資料のペーパーレス化を図ります。

一 般 質 問

消防団の現状



野口弘吉議員

◆消防団の現状と 今後の整備は

消防団は、地域の安全確保のために果たす役割は大きく、災害発生時には避難誘導や災害救助、支援活動も行い、住民の安心と安全を守る重要な役割を担っているため、団員の活動環境を整える必要があると考えております。

また、消防団の強化や環境整備が大事であると思いますが、町はこれらのことをどのように考えているか伺います。

そして、現場では、住民の救出、救助、避難誘導も行います。地域の安心安全を守るためにも消防団の車両や詰所は、消防活動を行う上でも重要でございます。

分団施設が備えるべき機能は、会議室、湯沸室、トイレ等が必

要で、6分団の詰所の現状をどのように認識し、詰所の整備を計画的に進めていく考えはあるか伺います。

答え 町長

「処遇改善に努め
詰所の整備は検討します」

分団の現状として、団員の減少が、全国的な課題となっており、神川町でも減少が続いている現状です。町としても、昨年度の出勤報酬の創設や活動服の更新を行うなど、処遇改善や装備の充実を図ることで加入促進へつなげるよう努めています。

また、第6分団の詰所は、平成6年に新築し、耐震基準も満たされているため、現在も消防団車庫兼詰所として利用しています。

今後、第6分団のご意見をお聞きしながら、整備は検討していきます。



現在の第6分団詰所（下阿久原）



現在の第6分団詰所（上阿久原）



福島康弘議員

出典：総務省ホームページ

(https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/02gyousei08_03000066.html)

地域再生とまちづくり

◆梨特化の理由と
定着定住の支援は

地域おこし協力隊は、都市部から過疎地域等に住民票を異動し、地域ブランドや地域特産品の開発、販売、PR等の協力活動を行いながら、その地域への定住、定着を図る取組です。令和4年度、横瀬町20名、小鹿野町14名、秩父市10名の地域おこし協力隊が活躍し、神川町は、現在1名の方が活躍しています。神川町地域おこし協力隊設置要綱では、観光業の振興、定住人口の増加なども協力隊の活動と規定しているなか、梨に特化して地域おこし協力隊を募集している理由を伺います。

また、令和4年度、全国では6、447名の隊員が地域おこし協力隊として活躍し、令和8年度までに隊員数を1万人とする目標を掲げています。地域再生には、いろんな分野において地域おこし協力隊が必要ではないでしょうか。町の考えを伺います。

さらに、地域おこし協力隊の定着、定住を目標の一つにしていますが、町支援の現状及び今後の取組を伺います。

答え 町長

「自主防災組織結成を
引き続き支援します」

町では、特産農業サポーターとして、「梨」の栽培を条件として協力隊が活動しています。「梨」と限定している理由は、梨農家の後継者不足を解消することを目的としているほか、若い方のアイデアを生かし、梨を使った加工品の商品開発などにより、町内外へPRすることで町の活性化を図ることを目的としています。

今後、どのような分野で地域おこし協力隊を募集するかは、町の魅力を内外にPRすることを目的としたイベントの企画や新たな観光資源の開発、地域の特産品の紹介などを目的とした観光分野での募集や町の活性化など、農業に限らず、多岐にわたる募集を検討します。



赤羽 奈保子 議員

高齢者の「聞こえ」に対する支援

◆高齢者へ聞こえの支援を

加齢による難聴は、75歳以上になると、およそ7割を超える方が、日常会話が聞こえづらいつと報告され、誰にでも起こる可能性があります。聞こえが悪いと、周囲とのコミュニケーションが取りづらくなり、社会活動の様々な場面で支障を来してしまつことが考えられます。

補聴器は高額で、購入が大変な方も多いのが現状だと思います。年を取ったのだから、耳が悪くなつても仕方がないと諦めてしまつのではなく、聞こえの支援をすることで仕事をしたり、



社会のなかで活動できるように、補聴器購入の助成をする考えがあるか伺います。

答え 町長

「効果を見据え 調査研究します」

加齢性難聴者の方への補聴器の購入助成はありません。

町では、これまで県内の動向や既に助成事業を実施する市町の助成内容等について注視してきましたが、現在助成制度がある県内市町村は7市町にとどまり、大きな広がりには至っていません。

加齢性難聴者への聞こえに対する支援はコミュニケーションの活発化につながることから、認知症や鬱の予防、高齢者の生活の質の向上に一定の効果があると承知していますので、引き続き調査研究します。

HPVワクチン

◆男子にもHPVワクチンの助成を

現在、神川町のHPVワクチンの接種の取組はどうでしょうか。令和4年度にHPVワクチンの積極的勧奨が再開され、併せて積極的勧奨を差し控えの影響を受けた世代に対しても、キャッチアップ接種が開始されました。

キャッチアップ接種は、令和6年度末まで3年間の時限措置で、期間内に接種を終わらせる必要がありますが、町ではキャッチアップ接種の対応をどのように行っているのでしょうか。

また、男性HPVワクチン接種をすることで、男性自身のHPV感染による疾病を予防できることに加え、パートナーへの感染防止や社会全体での感染リスク低下など、接種の意義は高いと言えます。

ワクチンは高額で、全額自費で接種を求めるのもハードルが高くなりますが、町での助成の考えはあるか伺います。

答え 町長

「適切な情報周知と 動向を注視します」

HPVワクチンは、小学校6年生から高校1年生に相当する女子を対象に実施しています。HPVワクチン接種の効果が見直され、定期接種対象者のほか、平成9年から平成18年度生まれの女子について、接種機会の確保のため、キャッチアップ接種と呼ばれる世代への対応も並行して進められています。

町は、昨年度から対象者全員に直接通知を送付するとともに、広報紙や、LINE等で受診勧奨や不安解消につながる情報発信を行っています。今後も対象者全員に適切な情報が届くよう、啓発強化に努めます。

また、令和2年12月から9歳以上の男性へのHPVワクチンが接種可能となりましたが、現在のところ任意接種のため、全額自己負担となっています。現段階では国や近隣市町の動向を注視していきます。

情報発信



剣持 真菜美 議員

◆社会ニーズや 世代別の情報発信を

町の情報発信ではイベントや取組等の魅力が伝わっていないことから、利用者・参加者が一部の方に限られていると感じます。また、閲覧板が回っていない家庭や若者向けの発信、さらには町外に向けたアピールも十分ではありません。

一方的な情報発信のみならず、フォロワーや視聴者に積極的なコミュニケーションを図ることも大切です。一人一人を大切にすることで、町のSNSの信頼性を高めることにもつながります。

また、図書室をはじめ町内の公共施設の利用者を増やすためにも、世代に合った発信や集客の方法など、情報が集まるような体制を取り入れていく必要があります。

あり、LINEやYouTube、ユーチューブ以外の公式アカウント取得の考えがあるか伺います。

さらに、町民にとって行政がより身近に感じられる取組として、スーツを脱ぎ、住民と膝を交えての座談会、車座などの取組を行う考えがあるか伺います。

答え 町長

「新たなSNSの 活用を検討します」

現在運用しているSNSをより多くの方に広めるとともに、各事業の効果的な情報発信方法を研究・検討していくなかで、新たなSNSの運用、活用に向けて今後検討します。

身近に感じる取組は、町長就任後、新たに「かみかわまちづくり通信」を発行し、毎号のテーマに沿ったご意見を皆様から

募集するという、町民の皆様と行政の双方で意見発信ができる取組を始めました。

車座集会や座談会の取り組みは、コロナウィルスの関係から、住民の皆様との交流が制限されてきましたが、今後は町の主催イベントや事業、地域の行事などにも積極的に、可能な限り参加し、皆様と直接交流できる機会を増やしていきます。

今後も、より効果的な情報発信や身近に感じられる行政を目指し、工夫します。

答え 教育長

「利便性の向上を図る 情報発信を検討します」

図書室利用者増加への取組として改善策の検討を随時実施しています。

利用者増加のための様々な施策を行っているなか、SNSを活用し、効果的に情報発信していくことは、非常に重要なことと考えています。

今後は、図書室の開館や閉館、色んなイベントの混雑の状況など、利用者の利便性の向上を図る情報発信の手法について、SNSの活用を含め、さらに検討します。

ソーシャルメディアの種類と代表的なサービス例

種類	サービス例
ブログ	アメーバブログ、ココログ、Seesaa ブログ、ライブドアブログ
SNS(ソーシャルネットワークサービス)	Facebook、X (旧 Twitter)、Instagram
動画共有サイト	YouTube、TikTok
メッセージアプリ	Line
情報共有サイト	価格コム、食べログ
ソーシャルブックマーク	はてなブックマーク

決算
審査

令和4年度事業を

認定

一般会計 歳入総額 68億9200万円 歳出総額 64億6390万円

町の予算がきちんと執行されたか、慎重審議し、全ての会計決算を認定しました。
そのなかで、議会が注目した事業を紹介します。

新神泉総合支所建設事業

39757万円

地域の公共施設を集約し新たな拠点へ。



民営バスの運行支援

191万円（神川町補助分）

バス路線（本庄駅南口～神泉総合支所線）の運行の維持及び充実のため、令和4年度は、国と4市町で補助。



集会所整備事業

323万円（補助金額：200万円）

5カ所の集会所に、雨漏り修繕や屋上防水改修工事等を行った。

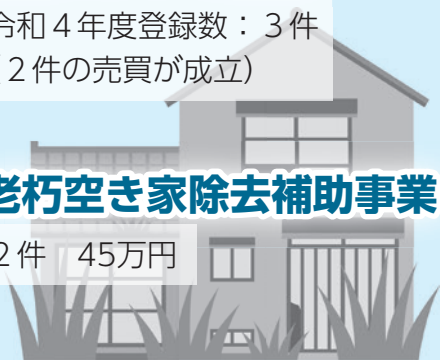


空家バンクの登録

令和4年度登録数：3件
（2件の売買が成立）

老朽空き家除去補助事業

2件 45万円



消防団第一分団 消防車両購入

2420万円

20年経過した第一分団ポンプ車両を車両配備計画に基づき、救助資機材搭載型ポンプ車両に更新した。



新生児臨時特別交付金事業

490万円

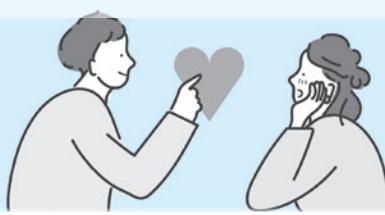
コロナ禍に妊娠・出産された方々に新生児一人につき10万円を交付した。



結婚新生活支援事業費補助金

163万円(5世帯分)

結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新生活に係る費用を支援した。



出産・子育て応援事業

620万円(合計124件)

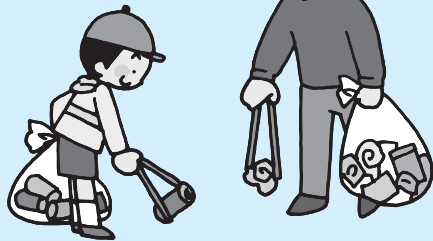
出産支援ギフト、子育て支援ギフトとしてそれぞれ5万円を交付した。



地域活性化事業補助金交付

160万円(23行政区合計)

住民の主体的、自主的活動を促進した。



給食センター調理配送業務の民間委託費

3934万円

令和4年度より3年間の契約で、調理・配送業務を委託した。

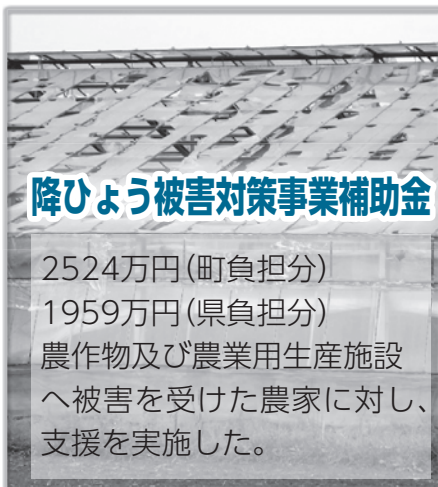


降ひょう被害対策事業補助金

2524万円(町負担分)

1959万円(県負担分)

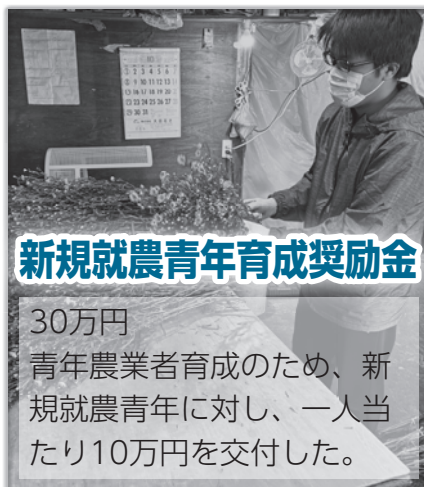
農作物及び農業用生産施設へ被害を受けた農家に対し、支援を実施した。



新規就農青年育成奨励金

30万円

青年農業者育成のため、新規就農青年に対し、一人当たり10万円を交付した。



矢納フィッシングパーク

660万円

施設運営者への貸し出しのため、整備工事費等を支出した。



秩父瀬河川取付道路整備事業

4514万円

神流川はつらつプロジェクトとして道路を整備した。



水道基本料金減免事業

5936万円

新型コロナウイルス感染症の影響を考え基本料金8か月分を免除した。



9月定例会議案一覧及び審議結果「決算関係」

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	令和4年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額68億9203万4541円、歳出総額64億6390万4336円の決算を認定した。	△
	令和4年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額16億5729万6201円、歳出総額16億4055万1905円の決算を認定した。	△
	令和4年度神川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額1億6315万8476円、歳出総額1億5019万4146円の決算を認定した。	△
	令和4年度神川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額12億4309万2969円、歳出総額11億5121万2178円の決算を認定した。	△
	令和4年度神川町営バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額920万9397円、歳出総額893万0626円の決算を認定した。	○
	令和4年度神川町観光事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額2228万3983円、歳出総額1808万7494円の決算を認定した。	○
	令和4年度神川町水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について 事業収益が3億1896万8784円、事業費用が2億7571万3548円、資本的収入が、1766万9千円、資本的支出が1億8833万2429円の決算を認定した。	○
	令和4年度神川町下水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について 事業収益が1億4761万8430円、事業費用が1億1972万5801円、資本的収入が、1854万4千円、資本的支出が8550万8672円の決算を認定した。	○
	令和4年度神川町健全化判断比率について	報告のみ
	令和4年度神川町資金不足比率について	報告のみ

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

9月定例会議案一覧及び審議結果「予算」

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	令和5年度神川町一般会計補正予算（第4号） 人事異動に伴う職員人件費の減額や物価高騰対策・農業災害特別措置事業費など。歳入歳出各2億0851万6千円を増額し、補正後総額を歳入歳出各62億1768万6千円とする。	△
	令和5年度神川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出各859万円を減額し、補正後総額を歳入歳出各15億3801万6千円とする。	△
	令和5年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 令和4年度の繰越額確定による歳入の組み換えに合わせて、歳出の財源振替を行う。	○
	令和5年度神川町水道事業会計補正予算（第1号） 歳入歳出各9260万8千円を増額し、補正後総額を歳入歳出各12億1490万9千円とする。	○
	令和5年度神川町水道事業会計補正予算（第1号） 第3条予算の支出から1421万円を増額し、補正後の額を3億1911万5千円とする。	○

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

9月定例会議案一覧及び審議結果「条例・契約等」

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	神川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町過疎地域持続的発展計画の変更について 事業計画の追加等により、計画を変更した。	○
	物品購入契約の締結について 申請書自動作成システム購入について契約を締結する。	△
	物品購入契約の締結について ノートパソコン購入の物品購入契約を締結する。	○
	財産の無償譲渡について 旧冬桜の宿神泉の建物、付帯設備及び備品一式を無償で譲渡する。	○
	町道路線の廃止について 路線の組み替えにより、町道を廃止する。	○
	町道路線の認定について 道路の新設や路線の組み替えにより町道として認定する。	○
請願・陳情・議員提出議案	「適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施延期を求める意見書」の提出を求める請願書 総務経済常任委員会は「全会一致」で採択し、本会議も採択になりました。	△
	町道2級8号線及び町道3575号線の改修について 総務経済常任委員会は「全会一致」で採択し、本会議も採択になりました。	○
	植竹地内町道3823号線道路整備及び舗装道路について 総務経済常任委員会は「全会一致」で採択し、本会議も採択になりました。	○
	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施延期を求める意見書	△

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

各議員の賛否の状況（全員賛成の議案等を除く）

議案名称		議決等の結果	1 剣持眞菜美	2 新井 太一	3 四方田繁男	4 田中 隆久	5 福島 康弘	6 川浦 雅子	7 野口 弘吉	8 坂本 貴佳	9 堀川 光宣	10 赤羽奈保子	11 落合 周一	12 柴崎 愛子
町長提出議案	令和4年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定	可決	○	×	×	-	×	×	○	○	○	○	○	-
	令和4年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	可決	○	○	×	-	○	×	○	○	○	○	○	-
	令和4年度神川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	可決	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	-
	令和4年度神川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	可決	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	-
	令和5年度神川町一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	-
	令和5年度神川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	×	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	-
	物品購入契約の締結について	可決	×	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	-
請願・議員提出議案	「適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施延期を求める意見書」の提出を求める請願書	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	-
	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の実施延期を求める意見書	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	-

○ 賛成 × 反対

— 柴崎愛子議長（議事進行）は採決に加わりません。

— 田中隆久議員は、怪我のため、欠席です。

9月定例議会で審議された主な事業を紹介します！



申請書自動作成システム購入

書かない窓口用のシステムを導入することで、申請者の申請書作成の手間の軽減や、窓口全体の待ち時間減少に期待する。

660万円



旧冬桜の宿神泉を無償譲渡

ふぁーむニコ株式会社に旧冬桜の宿神泉の建物、付帯設備及び備品一式を無償で譲渡する。

文教厚生常任委員会 ほっとmama視察

7月5日(水)、特定非営利活動法人ほっとmamaの放課後等デイサービス「コンパス」を視察しました。

どのような障がいをお持ちの子どもたちが通っているのか、スタッフさんそれぞれが子どもたちに寄り添った対応をしてくださっていることなどのお話を伺いました。



文教厚生常任委員会 図書館の取組みについての視察

令和5年7月20日(木)、埼玉県小川町図書館・三芳町図書館の取組状況について視察しました。

どちらも、赤ちゃん・子どもの頃から当たり前のように図書館を利用してもらえるようなイベントなどによる仕掛け作りがなされ、地域に密着した取組が充実していました。

図書館としての大きな建物や見やすい什器も大切ですが、そこでの取組や職員の思いといったソフト面も重要と気付きました。



落合周一議員 逝去

落合周一議員に 心より哀悼の意を 表します

落合様は、去る9月25日に急逝されました。75歳でした。

落合様は、平成22年1月の議会議員選挙において、見事初当選され、以来5期13年にわたり神川町議会議員として、総務経済常任委員長、議会運営委員長、副議長等、要職を歴任され、衆望厚く、すぐれた識見と円熟した人格は、接する人に親愛の情と敬意を表し、常に貴重な役割を果たされ、その卓越した指導力と優れた資質は、高い人望とあいまって、地域住民はもとより、広く町民の支持を得ていました。

議会を通して、共に歩んだ日々を想い、ただひたすらにご冥福をお祈りするばかりですが、ご生前の幾多のご功績は、今後いよいよ実を結び、この地に息づくことと存じます。

私たち議員一同、あなたのご遺志を引継ぎ、町政発展のため、全力を傾注することをお誓いいたします。

落合様を偲び、惜別の情はつきませんが、謹んで哀悼の意を表し、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

神川町議会議員一同



児玉郡町議会議員前期研修会を開催

令和5年7月28日(金)、上里町役場大会議室において、一般社団法人公務員研修協会代表理事である高嶋 直人氏による「ハラスメント防止研修」が行われました。

議員に求められるコンプライアンスは全体の奉仕者であること。公務員としての自覚。厳しい議論が求められるが、人格攻撃では無い。

コンプライアンスとは、使命と責任に忠実であること。不祥事防止のためには、個人の問題で片付けないで、真の原因を突き止め、組織的に正しく対策を講じることと考えます。



「ハラスメント防止」をテーマに研修を行う。

文教厚生常任委員会 藤岡市を行政視察



令和5年8月8日(火)、藤岡市連携型小中一貫校の取組を伺いました。

市内の小学校11校、中学校5校の連携で、9年間一貫したカリキュラムによる教育は、今年で10年目。チームとしての授業で系統的な教科指導を行い、「学びのつながりがスムーズになった。」との成果を伺いました。学校を統廃合しない理由は、「仕組みを整えれば良い。」との考えのもと、地域と共にある学校として、「各学校の特色ある取組を行っている。」とのことでした。

議 会 活 動 報 告

総務経済常任委員会 請願 1 件、陳情 2 件を採択

9月8日(金)、総務経済常任委員会を開催し、紹介議員及び執行部から経済観光課職員の出席を求め、『「適格請求書等保存方式(インボイス制度)の実施延期を求める意見書」の提出を求める請願書について』の請願書1件を慎重に審査いたしました。

「小規模事業者の経営状況」の質疑に対し、物価高騰で事業収入が少なく営業利益もでない小規模事業者である免税事業者の苦しい状況説明があり、採決の結果、採択いたしました。

また、『町道2級8号線及び町道3575号線の改修』『植竹地内町道3823号線 道路整備及び舗装道路』の陳情書2件も町の考え方等を確認のうえ慎重に審査した結果、採択いたしました。



文教厚生常任委員会協議会 対策と協議の必要性を確認

9月12日(火)、文教厚生常任委員会協議会を開催し、教育長をはじめ、教育委員会学務課と小学校における暑いなかでの運動会、体育の実施方法及び登下校時の服装について意見を交換し、今後の暑さ対策の必要性を感じました。



また、小学校統合に係る保護者説明会については、説明会での意見をもとに話し合い、保護者、児童の意見を十分に聴き入れながら事業を進めるよう教育委員会に要望するとともに、議会として、改めて小学校統合を注視する必要性を感じました。



スマホで議会！

スマホでQRコードを読み込むと「町HPから神川町議会のページ」が閲覧できます。

3月定例会は、3月5日(火)から開催予定です。



編集後記

季節はめぐり、令和5年も終わりに近づいています。この一年、心に残った出来事は何でしょうか？

コロナ禍、物価高騰、夏の酷暑、等々、もつと良いことも沢山あったという方も？ 今回の議会だよりは、令和4年度の決算特集です。昨年度の行政をチェックしました。

これからも身近な議会、わかりやすい議会だよりを目指して頑張ります。

(川浦 雅子)

議会だより編集委員会

- ・委員長 赤羽奈保子
- ・副委員長 川浦 雅子
- ・編集委員 野口 弘吉 田中 隆久
- 新井 太一 剣持真菜美
- ・アドバイザー(議長) 柴崎 愛子

